

環境特集—環境改善（水質浄化・土壌浄化）

1	巻頭言 水環境の改善とまちづくり	久保田 勝
2	土壌・水質の汚染対策に関する関係法令	石田 雅博
6	廃棄物最終処分場適正閉鎖工事 —新しい原位置攪拌混合ソイルセメント壁構築工法（CSM工法）	則松 勇・辻本洋次郎・齋藤 隆
11	モバイル型土壌洗浄プラントによる汚染土壌浄化	毛利 光男・田中 仁志・菅原 尚也
15	ソイルセパレータ工法トータルシステムによる建設発生土のリサイクル —伏木富山港（新湊地区）橋梁下部工事における土砂のリサイクル—	小泉 哲也・池田 純・居場 博之
20	施工段階における二酸化炭素排出量削減対策 —輸送車両への省燃費運転法の普及とその効果把握—	水野 良治・飯塚 孝司
25	ずいそう 建設施工分野の海外協力を携わって —ベトナム「第1交通技術訓練校」を訪ねる旅—	中澤 秀吉
26	ずいそう 凡人の人生最終計画	川合 雄二
27	交流の広場 家庭用燃料電池の開発動向	池田 紳一
31	JCMA報告 荒川ロックゲートと日比谷共同溝の見学会	機械部会基礎工事用機械技術委員会
33	CMI報告 低品質骨材のダムコンクリートへの適用性	日向 正
36	新機種紹介	広報部会
39	統計（2005年12月）	広報部会
40	行事一覧（2006年1月）	
42	編集後記	（夏原・松本・梅本・嶋津）

◇表紙写真説明◇

モバイル型土壌洗浄プラント

写真提供：清水建設株式会社

「モバイル型土壌洗浄プラント」は、清水建設株式会社が保有する土壌洗浄プラントの一つであり、車輛によって汚染サイトへ運搬する

ことができる。汚染サイトへモバイル型土壌洗浄プラントを持込んで重金属類・油類の汚染土壌の洗浄処理を行い、70～80%の再利用土壌を回収する。

モバイル型土壌洗浄プラントの処理能力は1時間当たり30～40トンである。土壌洗浄で用いる洗浄水は水処理を行い、土壌洗浄プラント内で再利用する。

（本誌11～14ページ参照）